

ACIファブリックの電源切断および電源投入手順の理解

内容

[概要](#)

[概要](#)

[GUIを使用したファブリックの電源オフ](#)

[手順 1](#)

[手順 2](#)

[手順 3](#)

[手順 4](#)

[手順 5](#)

[手順 6](#)

[GUIを使用したファブリックの電源投入](#)

[手順 1](#)

[手順 2](#)

[手順 3](#)

[手順 4](#)

[手順 5](#)

概要

このドキュメントでは、ACIファブリック内のすべてのデバイスの電源をオフにして電源メンテナンスまたは物理的な移動を行ってから、ファブリックの電源をオンにする方法について説明します。

概要

高レベルプロセスは『[Cisco APICシステム管理設定ガイド](#)』に記載されており、次のセクションで拡張されています。

- これらの手順は、マルチポッド展開、マルチサイト展開、またはその両方の一部であるファブリックに適用されます
- これらの手順は、マルチポッド展開のポッドの一部の電源のみがオフになっている場合は適用されません。

GUIを使用したファブリックの電源オフ

手順 1

1. 何らかの措置を講じる前に、布が完全に適合していることを確認します。クラスタが正常でない場合は続行しないでください。

<#root>

apic1#

show controller

Fabric Name : Fabric-A
Operational Size : 3
Cluster Size : 3
Time Difference : 2450
Fabric Security Mode : STRICT

ID	Pod	Address	In-Band IPv4	In-Band IPv6	OOB IPv4	OOB IPv6
1*	1	10.0.0.1	0.0.0.0	fd00::1	10.1.1.11	fd00:1::11
2	1	10.0.0.2	0.0.0.0	fd00::2	10.1.1.12	fd00:1::12
3	1	10.0.0.3	0.0.0.0	fd00::3	10.1.1.13	fd00:1::13

Flags - c:Commissioned | r:Registered | v:Valid Certificate | a:Approved | f/s:Failover fail/success
(*)Current (~)Standby (+)AS

<#root>

apic1#

avread

Cluster:

operSize 3
clusterSize 3
fabricDomainName Fabric-A
version apic-6.2(3g)
discoveryMode STRICT
drrMode OFF
kafkaMode OFF
autoUpgradeMode OFF
standbyType warm
optimalLeaders yes

APICs:

	APIC 1	APIC 2	APIC 3
version	6.2(3g)	6.2(3g)	6.2(3g)

address	10.0.0.1	10.0.0.2	10.0.0.3
oobAddress	10.1.1.11/24	10.1.1.12/24	10.1.1.13/24
oobAddressV6	fd00:1::11/64	fd00:1::12/64	fd00:1::13/64
routableAddress	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0
tepAddress	10.0.0.0/16	10.0.0.0/16	10.0.0.0/16
podId	1	1	1
chassisId	11111111-.-11111111	22222222-.-22222222	33333333-.-33333333
cntrlSbst_serial	(APPROVED,SAL1234AB01)	(APPROVED,SAL1234AB02)	(APPROVED,SAL1234AB03)
active	YES	YES	YES
flags	cra-	cra-	cra-
capabilities	[1,2,3]-N	[1,2]-N	[1,2,3]-N
health	255	255	255

2. すべてのAPICへのCisco Integrated Management Controller(CIMC)アクセスが使用可能で機能していることを確認します。

3. すべてのスイッチへのコンソールアクセスが使用可能であり、機能していることを確認します。APICとスイッチを新しい場所に移動し、新しいIPアドレスとコンソール接続を使用する場合は、移動前にAPICへのCIMCアクセスだけを検証する必要があります。

手順 2

電源をオフにする前に、AES暗号化を使用して設定スナップショットを作成します。このスナップショットは、ファブリックの再構築を必要とする、まれな最悪のケースのシナリオでのみ使用してください。

- ビデオ：[AES暗号化を使用したCisco APIC設定のエクスポート](#)
- 設定ガイド：[コントローラ設定のバックアップ、復元、およびロールバック](#)

手順 3

アップグレード前のスクリプトを実行します。

システムはアップグレードされませんが、アップグレード前のスクリプトをヘルスチェックツールとして使用して、対処する必要がある障害や問題を特定できます。

VLANのオーバーラップなどの問題では、電源のオフ/オンによって設定のプッシュが不確定になる可能性があるため、注意が必要です。

詳細については、『[アップグレード前のチェックリスト](#)』を参照してください。

手順 4

この手順では、シャットダウンアクティビティに使用するAPICの1つを除くすべてのAPICをシャットダウンします。

1. APIC (たとえば、apic-1) にログインします。
2. メニューバーから、System > Controllersの順に選択します。
3. APICを選択します。ナビゲーションペインで、Controllers > APIC Name say apic-2の順に選択します。
4. APIC (apic-2)を右クリックし、Shutdownを選択します。



Controllers

Quick Start

Topology

Controllers

4-apic1 (Node-1)

Cluster as Seen by Node

Equipment Fans

Equipment Sensors

Interfaces

Memory Slots

NTP Details

Power Supply Units

Processes

Server Response Time

SMU patch version

Storage

4-apic2 (Node-2)

Cluster as Seen by Node

Equipment Fans

Equipment Sensors

Interfaces

Memory Slots

NTP Details

Power Supply Units

Processes

Server Response Time

SMU patch version

Storage

4-apic3 (Node-3)

Controller Policies

Retention Policies

- Launch SSH
- Reload
- Shutdown
- Turn Off Locator LED
- Save as ...
- Post ...
- Share
- Open In Object Store Browser

5. apic-1以外のすべてのAPICについて、APICの選択とシャットダウンの手順を繰り返します。

ステップ5はapic-1のシャットダウンで構成されます。

手順 5

CIMC GUIを使用して、最後のAPIC apic-1をシャットダウンします。これは、このサーバが読み取り専用モードであり、APIC GUIを介してシャットダウン要求を処理しないためです。

1. 最後のAPICのCIMC GUIにログインします。
2. ナビゲーションペインでChassisメニューをクリックします。
3. Chassisメニューから、Summaryを選択します。
4. 作業ペインの上にあるツールバーから、Host Power > Shut Downの順に選択します。

M1-M4/L1-L4で、ページの右上にあるツールバーのHost Powerをクリックし、Shut Downを選択します。

The screenshot shows the Cisco Integrated Management Controller (CIMC) GUI. The top navigation bar includes the Cisco logo and the text "Cisco Integrated Management Controller". The main content area is divided into two sections: "Server Properties" and "Chassis Status".

Server Properties:

- Product Name: APIC-SERVER-L4
- Serial Number: WZP260291PY
- PID: APIC-SERVER-L4
- UUID: A5BB1D7B-D198-49F0-8793-F5C1E9CBF462
- BIOS Version: C225M6.4.3.4b.0.0827240450
- Description: (empty field)
- Asset Tag: Unknown

Chassis Status:

- Power State: On
- Post Completion Status: Completed
- Overall Server Status: Good
- Temperature: Good
- Overall DIMM Status: Good
- Power Supplies: Good
- Fans: Good
- Locator LED: On
- Overall Storage Status: Good

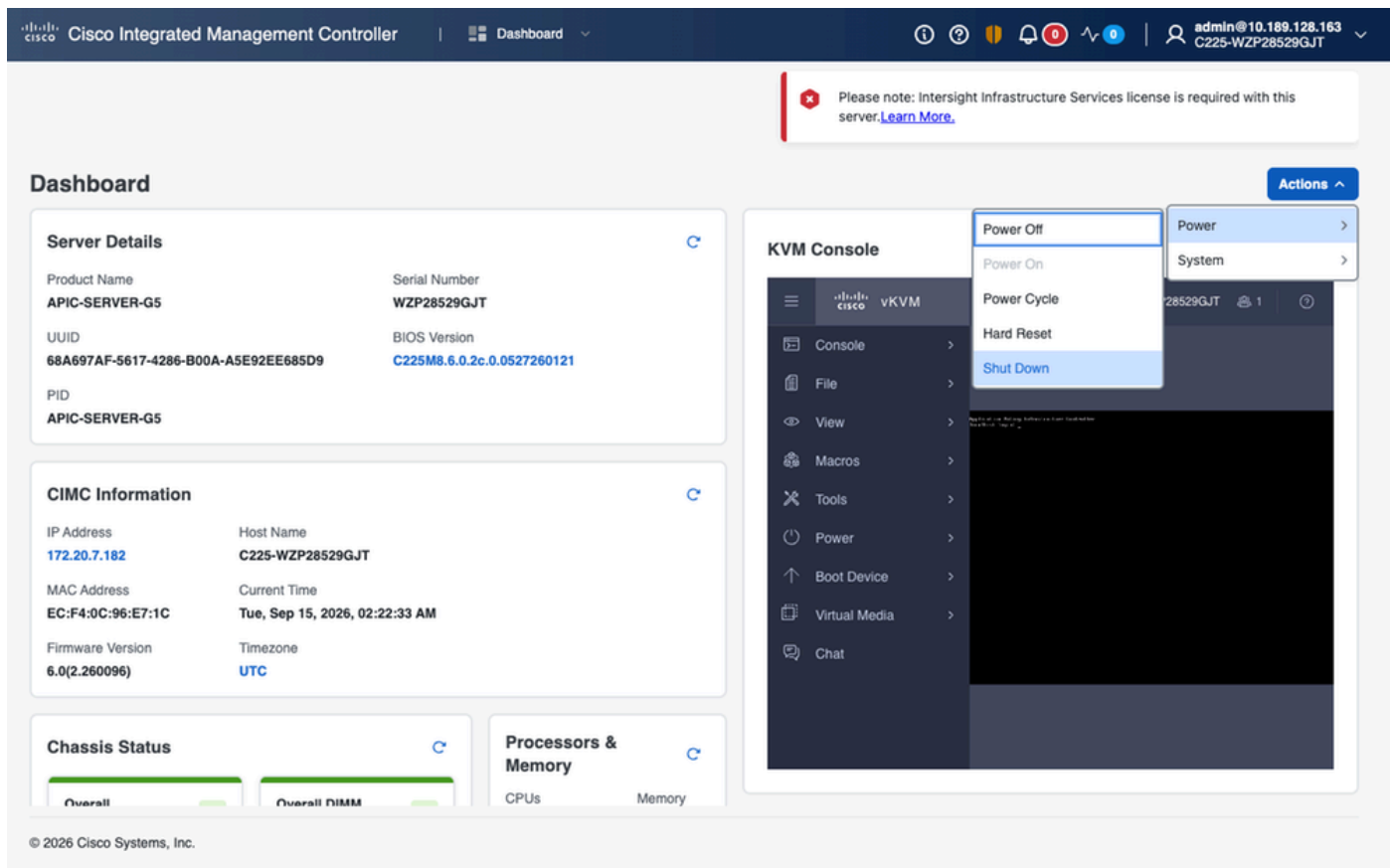
Host Power Menu:

The "Host Power" menu is open, showing the following options:

- Host: Powered On
- Power Off
- Power On
- Power Cycle
- Hard Reset
- Shut Down

The "Shut Down" option is highlighted. The bottom of the page features "Save Changes" and "Reset Values" buttons.

APIC-SERVER-G5には、Host Powerメニューはありません。右上隅のActionsから同じアクションにアクセスし、Powerサブメニューを開きます。



手順 6

すべてのAPICをシャットダウンした後、電源をオフにしてスイッチの電源をオフにします。

GUIを使用したファブリックの電源投入

この手順では、Cisco Integrated Management Controller(IMC)GUIを介してファブリックの電源を投入します。

手順 1

CIMC GUIからAPICの電源をオンにします。

1. APICのCIMC GUIにログインします。
2. ナビゲーションペインでChassisメニューをクリックします。
3. Chassisメニューから、Summaryを選択します。
4. CIMCを介してサーバの電源をオンにします。M1-M4/L1-L4アプライアンスで、Host Power > Power Onの順に選択します。APIC-SERVER-G5アプライアンスで、Actions > Powerの順

に選択します。

5. すべてのAPICに対して上記の手順を繰り返します。

手順 2

APICに直接接続されているリーフスイッチの電源をオンにします。

手順 3

リーフスイッチの電源をオンにしてから約1分後に、スパインスイッチの電源をオンにします。

手順 4

ファブリック内の残りのリーフスイッチの電源をオンにします。

手順 5

ファブリックが完全に適合していることを確認してから、何らかの操作を行ってください。

<#root>

apic1#

show controller

Fabric Name : Fabric-A
Operational Size : 3
Cluster Size : 3
Time Difference : 2450
Fabric Security Mode : STRICT

ID	Pod	Address	In-Band IPv4	In-Band IPv6	OoB IPv4	OoB IPv6
----	----	-----	-----	-----	-----	-----
1*	1	10.0.0.1	0.0.0.0	fd00::1	10.1.1.11	fd00:1::11
2	1	10.0.0.2	0.0.0.0	fd00::2	10.1.1.12	fd00:1::12
3	1	10.0.0.3	0.0.0.0	fd00::3	10.1.1.13	fd00:1::13

Flags - c:Commissioned | r:Registered | v:Valid Certificate | a:Approved | f/s:Failover fail/success
(*)Current (~)Standby (+)AS

<#root>

apic1#

avread

Cluster:

operSize 3
clusterSize 3
fabricDomainName Fabric-A
version apic-6.2(3g)
discoveryMode STRICT
drrMode OFF
kafkaMode OFF
autoUpgradeMode OFF
standbyType warm
optimalLeaders yes

APICs:

version APIC 1 APIC 2 APIC 3
address 6.2(3g) 6.2(3g) 6.2(3g)
oobAddress 10.0.0.1 10.0.0.2 10.0.0.3
oobAddressV6 10.1.1.11/24 10.1.1.12/24 10.1.1.13/24
routableAddress fd00:1::11/64 fd00:1::12/64 fd00:1::13/64
tepAddress 0.0.0.0 0.0.0.0 0.0.0.0
podId 10.0.0.0/16 10.0.0.0/16 10.0.0.0/16
chassisId 1 1 1
cntrlSbst_serial 11111111-.-11111111 22222222-.-22222222 33333333-.-33333333
active (APPROVED,SAL1234AB01) (APPROVED,SAL1234AB02) (APPROVED,SAL1234AB03)
flags YES YES YES
capabilities cra- cra- cra-
health [1,2,3]-N [1,2]-N [1,2,3]-N
255 255 255

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。